

定例会議の開催状況

- 1 日時 令和7年6月11日（水）午後1時15分～午後2時50分
- 2 出席者 斎藤委員長、櫻井委員、和田委員、逸見委員、山田委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本
部長
説明補助者
公安委員会事務室長、監察官室長、交通聴聞官、運転免許センターセ
ンター長補佐
- 3 議題事項
 - (1) 運転免許証交付処分に係る審査請求の審理経過報告及び裁決について
監察官室長から、運転免許証交付処分に係る審査請求について、審理経過の
報告があり、裁決した。
 - (2) 運転免許関係の意見聴取等について
交通聴聞官から、運転免許取消対象事案25件について、事案内容及び意見聴
取等結果の説明があり、審議の結果、取消し25件の行政処分を決定した。
- 4 報告事項
 - (1) 公安委員会宛て苦情申出の受理について
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた警察職員の職務執行に関
する苦情申出について報告があった。
 - (2) 公安委員会宛て審査請求の受理について（2件）
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに提出された運転免許証交付処分
及び運転免許取消処分に対する審査請求について、報告があった。
 - (3) 自転車安全月間の取組状況について
交通部長から、自転車安全月間の取組状況について、資料に基づき報告があ
った。

委員から、「月間期間中の自転車事故による高校生の負傷者数が大幅に減少
したとのことであるが、JR上所駅の開業により新潟駅周辺の自転車利用者が
大幅に減少したと感じているところ、これは駅の開業が要因か。」旨の質問が
あり、交通部長から、「要因は不明であるが、本年は月間期間中だけでなく自
転車事故が減少している。今後分析を進める中で自転車事故減少の要因が判明
し、県民に広報できる内容であれば広報していきたい。」旨の説明があった。

委員から、「発足したばかりのサイクルポリスが素晴らしい活躍をしている

と思う。サイクルポリスの活動は自転車利用者の交通ルールの徹底を図ることであるが、それは自転車利用者を交通事故から守ることにもつながり、大変効果的な活動である。今後も積極的な活動をお願いしたい。」旨の発言があった。

委員から、「県警察が開催したスタントマンによる事故の再現を取り入れた交通安全教室が報道されていたが、再現された事故を目の当たりにした中学生の交通安全に対する意識が高まった様子が短い報道からでもよく伝わってきた。中学生や高校生に非常に効果的だと思うので、スタントマンを取り入れた交通安全教室を今後も継続して行っていただきたい。」旨の発言があった。

(4) 梅雨期に向けた災害警備態勢の確立について

警備部長から、梅雨期に向けた災害警備態勢の確立について、資料に基づき報告があった。

委員から、「災害警備は県民のために必要であるが、昨年発生した山形県の記録的豪雨における警察官殉職事案を鑑み、痛ましい事案をなくすように緊張感を持って対応いただきたい。」旨の発言があった。

5 その他

(1) 仮装身分捜査について

委員から、「これまで日本で行われてこなかった仮装身分捜査が始まった。これを突破口として、匿名・流動型犯罪グループの捜査が一層進展することを願っている。」旨の発言があり、本部長から、「匿名・流動型犯罪グループの捜査は全国警察を挙げて取り組んでいかなければならないことであり、仮装身分捜査だけでなく、情報の分析、共有、他県警察との連携等により捜査を進めてまいりたい。」旨の発言があった。

(2) 県議会の対応について

本部長から、「来週から県議会6月定例会が始まる。しっかりと説明してまいりたい。」旨の発言があった。